

社員の皆さんへ



Ref.No. DTCS-24001-032
Dated: 2025-01-06

株式会社 **ダン・タクマ**
コーポレートサービス統括部
総務人事部

あけましておめでとうございます。 本年も宜しくお願い致します。

本日、初出の日に 本社 4F 大会議室に於いて行われます 当社代表取締役喜多社長による年頭のご挨拶を下記の通りお知らせ致します。

記

2025 年 社長年頭の挨拶



新年あけましておめでとうございます。

2025 年、新しい年の仕事始めに際し 当社取締役を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

まず、此の新しい年が ダン・タクマ並びに社員の皆さん、ご家族の皆様、 更にはタクマグループにとりましても、幸多くとても良い年になりますように 心から祈念致します。

皆さんは このお正月を ご家族とご一緒に ゆっくりと穏やかな時間の中で過ごされたことと思います。 社員の皆さんにとりまして 例年より少し長い元日から仕事始めまでの時間が とても有意義で嬉しい年初のひと時であったものと大変嬉しく思います。

ここに この新しい年も 皆さんとご家族の方々が元気に健康で安全に、そして幸せに過ごしてゆかれますように、また其れを支え糧となる当社の事業が 持続可能な成長を末永く続けてゆく事が出来ます様に 皆さんと一緒に願い共に頑張るってゆきたいと考える次第です。

さて、年初にあたり 当社を取り巻く事業環境に少し目を向けてみますと 米中貿易戦争・ロシアによるウクライナ侵攻や北朝鮮の関与、イスラエル・パレスチナ問題の悪化が中東諸国にまで及ぶ不安定な世界情勢はもとより 各主要国の政権の不安定化、経済安全保障上の地政学リスクの高まりとグローバルサプライチェーンの分断、そのような状況下での米国共和党政権トランプ大統領の再任など 世界の情勢は文字通り従前に例をみないほど不透明感を増し 当社の納入先である国内外の顧客企業はその影響の中にあります。 マクロ的視点に於いて、当社を取り巻く事業環境は大きな奔流の渦の中に在るものといえます。

更に、当社の周辺に目を向けてみますと、半導体ニッポンへの回帰の一環である TSMC 社の国内誘致や国策的半導体工場といわれるラピダス社による微細最先端プロセスの導入が、意図せず台湾をはじめとする海外半導体製造設備供給者の日本国内市場参入の機会を創るトリガーになってくる可能性を回避できない状況が予想されています。当社に於いては中期経営計画の中で重点項目として海外・第三国における技術供与を利用した戦略的製品調達をはじめ 国際事業における獲得成果の国内事業への水平展開を少しゆっくりとした時間の流れの中で安定的かつ拡大的に実施すべく計画を策定しておりますが、その時間軸を迅速に前に倒して実施施策の実行による成果獲得に傾注し、さらに戦略的な水平展開を具現化することが必要になってきました。 阻止することが容易でない市場環境の変化の兆しであると認識しています。

本年は、現行第 14 次中期経営計画に於ける初年度の決算を迎え、2 年目の事業運営に挑む年となります。中期経営計画に於ける各重点項目の成果獲得が、Vision 2030 の目標達成とその後の当社の将来にとって益々重要な意味をもつものと確信いたしております。

その様な状況の中で この新しい年の仕事始めに際し 毎年繰り返し皆さんにお願いしている事項を本年もまた 確りと心がけて戴くように ここでお願いしておきたいと思っております。



初動に於ける基本方針の設定と予定獲得成果の可視化・
共通認識化、方針に基づく施策策定と実施の徹底



社員・部署間の相互に敬意をもった緊密な連携と
コミュニケーションの実現

ひとりひとりが勇気をもって前に進む努力の実行



もう何年も繰り返し皆さんにお願いしている事項ですので 内容の説明は割愛させていただきます。当社の経営計画における成果獲得と企業風土・文化の醸成のために、とても重要な事項であると思っております。社員の皆さん一人一人がこれらのごことを大切にして仕事に取り組んで戴く事を願っております。

本年、2025 年の干支は「乙巳（きのとみ）」であり 「努力を重ね物事を安定させてゆく」という意味合いをもつ年とされています。

「乙」（きのと）は軋（きしむ）を意味し、諸説では 木の陰のエネルギーを表すと共に植物が成長し広がってゆく様を表します。柔軟性や協調性の象徴と周囲との調和を保ちながら自身の目標に向かって邁進する力を意味すると言われております。

また「巳」は既知の通り蛇を表しますが、古来より豊穡や金運を司る神聖な生き物とされてきました。深い知恵と洞察力に優れ、たくましい生命力と脱皮のたびに表面の傷が治癒していくことから再生の象徴とされています。

すなわち、2025年は多くの事項に関して成長と結実の時期、発展途上と最大限の成長の意味合いが、これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示唆しているといわれます。当社の経営計画の下での持続可能な事業の拡大成長の実現と基盤機能の改変再構築は決して容易に成果獲得し得るものではありませんが、今年の干支に准えて、従来踏襲や既存事項への依存を排し、古い衣を脱ぎ捨て新しい会社と新しい自分を目指し、勇気をもって共に前に進み成果の実を結ぶように粘り強く一生懸命に皆で力を合わせて頑張ってみましょう。皆さんの知恵と力が結集されれば、必ずや取り組みが実を結び始め、将来に資する成果獲得がその延長線上に顕われてくるものと信じております。

末尾になりましたが、本年も取締役一同、当社の事業の持続可能な拡大・成長とその実現の為に誠実に力を尽くし、社員の皆さんと協力し、よりよい会社の将来に向けて努力致す所存でございます。どうぞ、本年も直しくお願い致します。

代表取締役社長 喜多由樹

